

長期ビジョン実現に向けた価値創造ストーリー

JR西日本グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症を契機とした社会行動変容の加速等により、かつてない厳しい状況が続いていましたが、需要回復の兆しが見え始めています。一方、自然災害の激甚化、人口減少に伴う市場の縮小や労働力の減少に加え、国内外の情勢は不安定さを増しています。

新たな事業計画の策定にあたり、前計画の振り返りを行ったうえで、激変する経営環境を踏まえて、改めてJR西日本グループの存在意義、社会において果たすべき役割を見つめ直し、「私たちの志」を掲げ、「長期ビジョン2032」を設定し、その実行計画としての「中期経営計画2025」を策定しました。

「中期経営計画2022見直し」の振り返り

JR西日本グループは2018年4月に「中期経営計画2022」を公表したものの、2020年初頭より新型コロナウイルスの感染が拡大し、経営環境の激変に直面しました。その中で、

- ① 社会インフラ企業としての使命を守る
- ② お客様や社員の安全を守る
- ③ 社員の雇用を守る
- ④ サプライチェーンを守る

という4つの基本方針を掲げ、迅速に初動対応を行いました。

2020年10月には「中期経営計画2022見直し」を公表し、4つの戦略軸として「福知山線列車事故を原点とした安全性向上」「地域共生の深耕と新たな価値創造への挑戦」「経営の強靱化」「変化対応力を高める企業改革」を定め、変革・復興に取り組んでまいりました。

コロナ禍が想定より大幅に長引いたこともあり、結果的に「中期経営計画2022見直し」で定めた経営目標数値は未達になりましたが、財務面では機動的な債務調達、公募増資も実施し、コスト構造改革とあわせて変化対応力向上、将来の成長に向けた種まきとなる取り組みをはじめ、変革・復興の取り組みを着実に進捗させてまいりました。

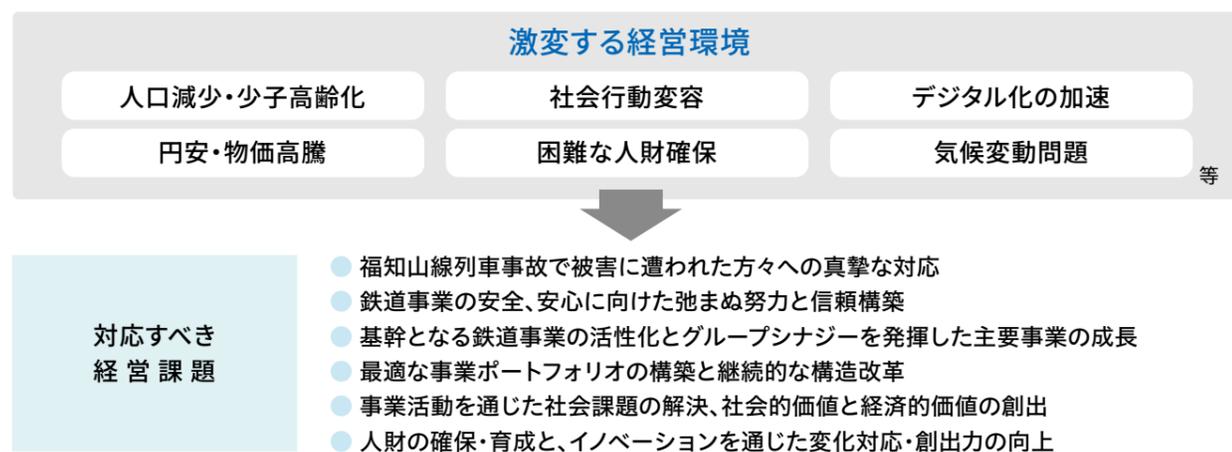
■連結営業収益・EBITDAの実績

	2020年度	2021年度	2022年度	
			実績	目標(中計見直し)
連結営業収益	9,200億円	1兆311億円	1兆3,955億円	1兆4,500億円※
EBITDA	▲708億円	429億円	2,436億円	3,300億円

※「収益認識に関する会計基準」適用前

新計画策定にあたっての課題認識

これまでの取り組みを着実に継続・推進することはもちろんのこと、多くの経営環境の変化、それに伴う経営課題が存在するなかで、いま一度、私たちの存在意義、社会において果たすべき役割を見つめ直しました。



経営の方向性

前述の過程において、お客様が安全に、安心してご移動いただけるモビリティサービスの提供はもちろんのこと、お客様の暮らしに寄り添い一人ひとりのお客様が思い描く“暮らし”そのものに対象を拡げたサービスをさまざまなパートナーとも協力しながら提供する重要性を認識いたしました。

お客様の移動にあわせて価値を創造していく「モビリティサービス分野のブラッシュアップ」、お客様の暮らしに寄り添って価値を創造していく「ライフデザイン分野の事業拡大」を両立させていくことを目指します。

鉄道の安全性向上

鉄道の安全性向上を最優先することは、新たな経営方針の中においても不変です。「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」との変わらぬ決意のもと、被害に遭われた方々に真摯に対応するとともに、お客様を想い、ご期待にお応えすべく、安全を最優先する考動を実践していきます。

モビリティサービス分野のブラッシュアップ

コロナによる行動変容や人口減少に直面する中でも、今まで以上に移動の利便性、快適性を追求し、移動したい、また行きたいと感じていただくためにさらなるブラッシュアップを図ります。



鉄道・交通、流通
(物販・飲食等)、
ホテル、旅行

ライフデザイン分野の事業拡大

人と人、人とまちをつないで移動そのものを創り出すことや、個々のお客様のニーズを把握し、生活や地域に密着した事業を展開し、お客様の暮らしに寄り添って価値を創造していくライフデザイン分野を拡大します。



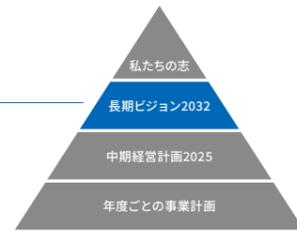
不動産、SC、地域・まちづくり、デジタル戦略、新たな領域

こうした課題を踏まえ、ポストコロナへの挑戦という大きな転換期にあたり、未来社会における羅針盤として「私たちの志」を掲げました。「私たちの志」の実現に向け、10年後の2032年に実現したいありたい姿として「長期ビジョン2032」、これらを目指していく第一ステップとして「中期経営計画2025～ポストコロナへの挑戦～」を併せて設定しました。

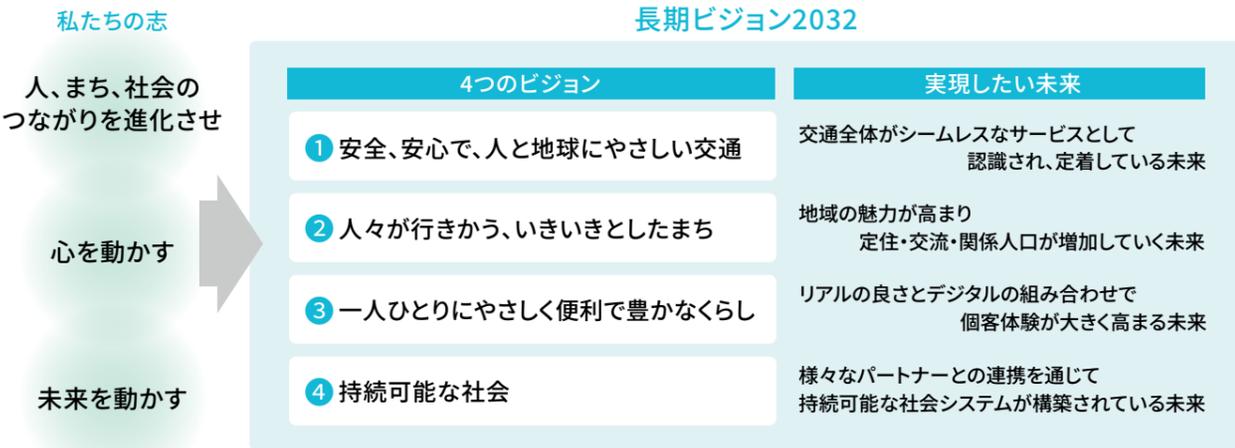
長期ビジョン実現に向けた価値創造ストーリー

長期ビジョン2032

JR西日本グループは、「私たちの志」の実現に向け、10年後(2032年)にありたい姿として、「長期ビジョン2032」(以下、「長期ビジョン」)を策定しました。重点的に向き合う社会課題を特定し、実現したいビジョンを、「安全、安心で、人と地球にやさしい交通」「人々が行きかう、いきいきとしたまち」、「一人ひとりにやさしく便利で豊かなくらし」及び「持続可能な社会」の4つに設定しました。

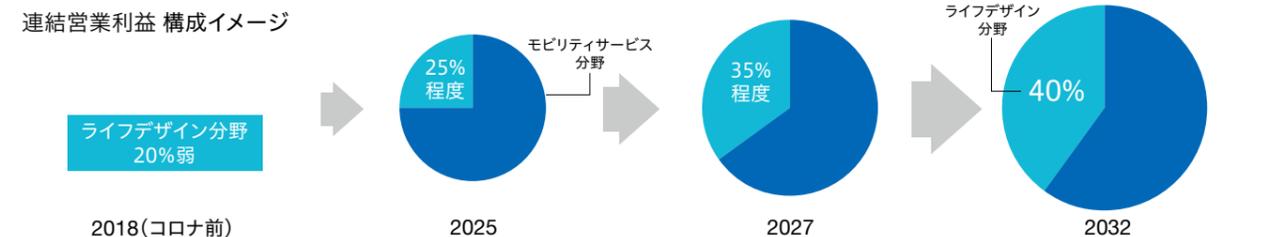
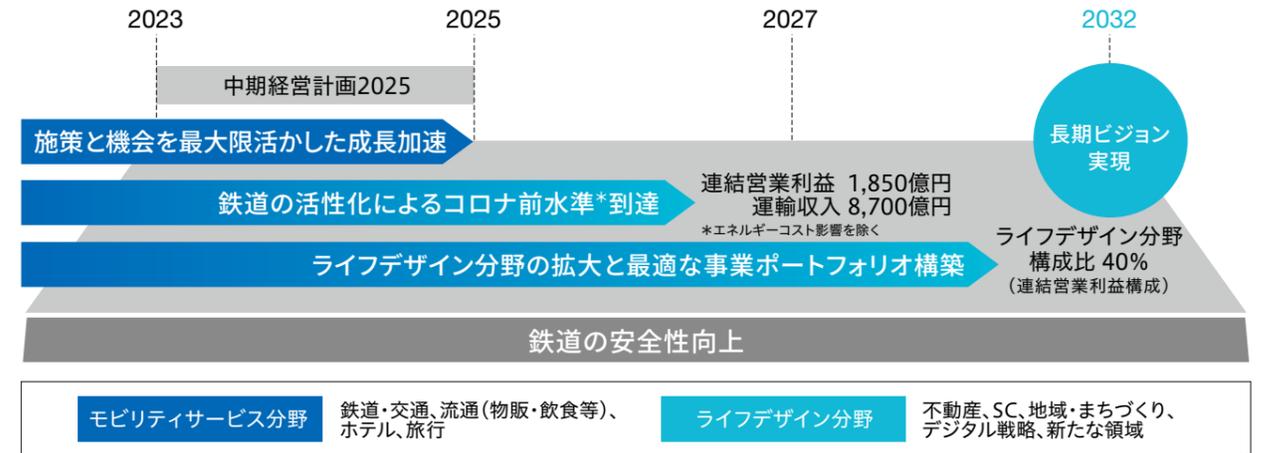


「私たちの志」の実現と10年後(2032年)のありたい姿



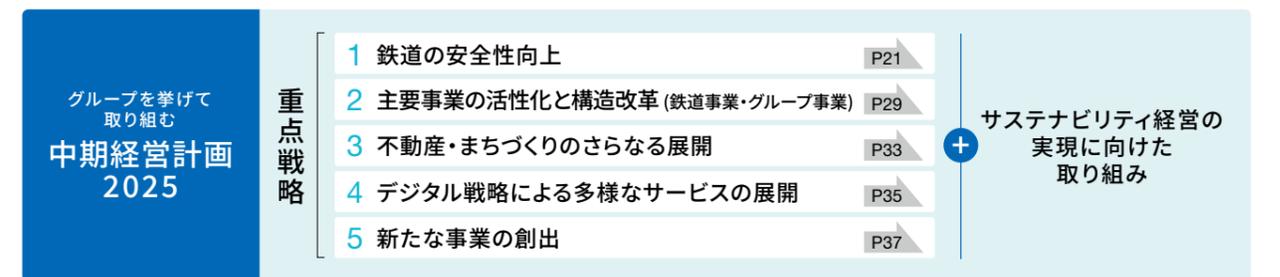
長期ビジョン実現へのチャレンジ

この「長期ビジョン」の実現に向け、鉄道の安全性向上に向けた不断の努力に加え、鉄道を中心としたモビリティサービス分野の活性化、ライフデザイン分野の拡大に挑戦し、最適な事業ポートフォリオを構築することで、将来にわたって持続的に価値創造を実現する企業グループに成長していきます。



中期経営計画2025～ポストコロナへの挑戦～

「中期経営計画2025」(以下、「中期経営計画」)では、「長期ビジョン」実現に向けた第一ステップとの位置づけのもと、早期のコロナ前水準への回復に向けて、足元の機会を最大限活かした成長を加速するため、5つの重点戦略を掲げました。あわせて、サステナビリティ経営の実現に向けて、地域共生、地球環境、人的資本経営、ガバナンス・リスクマネジメント・人権等に取り組みます。それぞれの詳細は、各ページをご覧ください。



長期ビジョン実現に向けた価値創造ストーリー

JR西日本グループの価値創造モデル

「私たちの志」「長期ビジョン」「中期経営計画」を踏まえ、今後JR西日本グループがどのように価値を創造し続けるのかを、以下の価値創造モデルに示しています。

価値創造モデルの各取り組みを着実に推進し、人、まち、社会のつながりを進化させ、人々の心と未来を動かすという「私たちの志」を体現し、社会において一層大きな役割を果たしていくために、グループを挙げて取り組んでまいります。

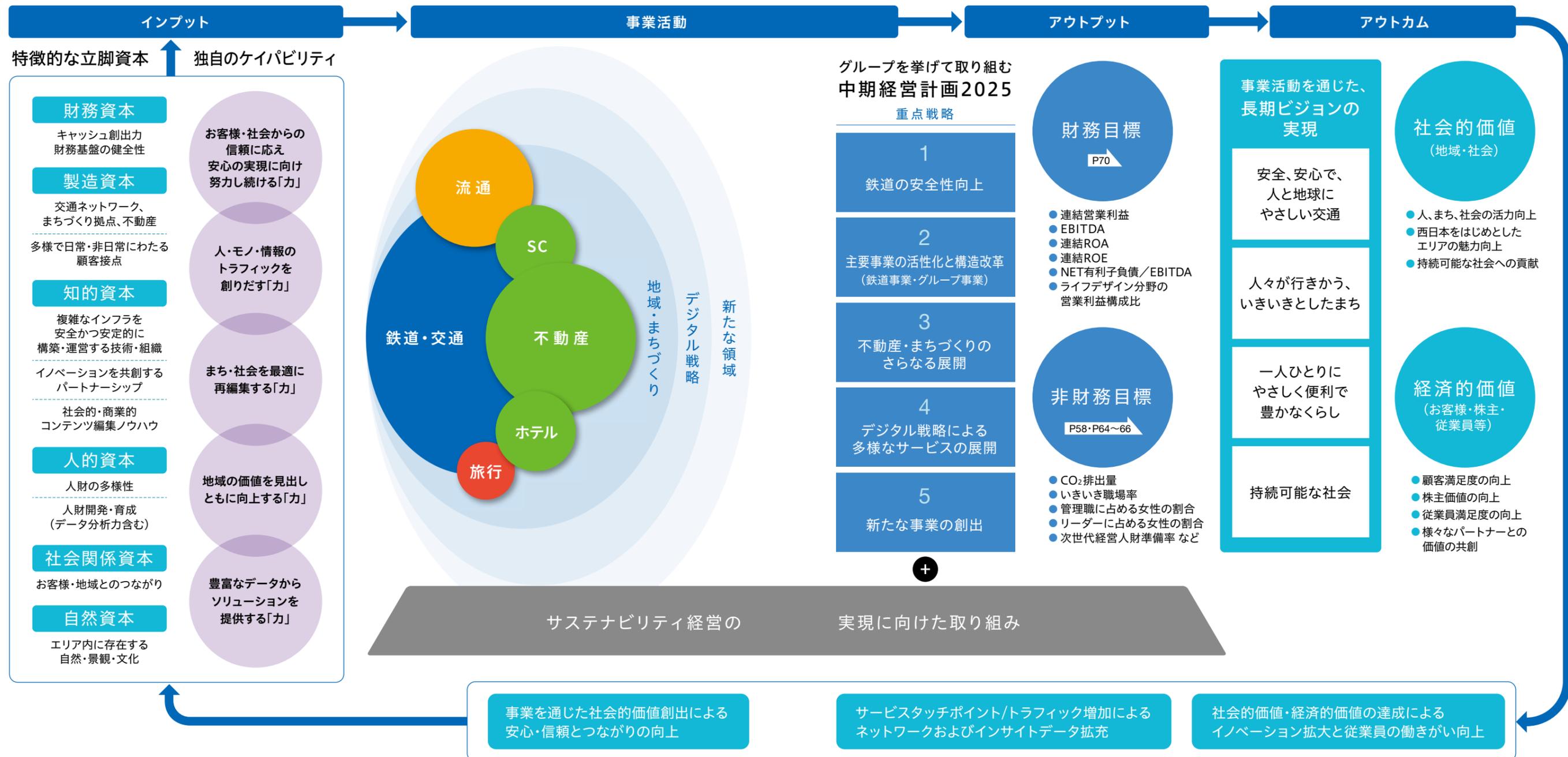
JR西日本グループの事業活動について

JR西日本グループは鉄道の安全性向上を最優先に、収支両面の構造改革、新幹線を中心とした移動需要の創出等のモビリティサービス分野のブラッシュアップ、お客様の暮らしに寄り添って価値を創造していくライフデザイン分野の積極的な拡大に取り組んでまいります。これに加え、地域・まちづくりのさらなる展開、グループデジタル戦略によるシナジーの最大化、新たな事業の創出に取り組み、長期ビジョンを実現してまいります。

これらの事業活動を通じた社会的価値・経済的価値達成により生まれる「安心・信頼とつながりの向上」「サービスタッチポイント/トラフィック増加によるネットワークおよびインサイトデータ拡充」「イノベーション拡大と従業員の働きがい向上」をインプットとして還元し、持続的な価値創造を実現する企業グループへ成長してまいります。

私たちの志 | 人、まち、社会のつながりを進化させ、

心を動かす。未来を動かす。



大切にしている価値観

トップメッセージ

めざす未来に向けた
価値創造プロセス

価値創造の基盤となる取り組み

データ集